

もんし 聞思

発行所 光山寺
〒758-0063
萩市 大字山田4553
TEL (0838) 22-1370
http://kousanji.net

**関係ないように見えて
実はみんな深い
関係があるんです
(法語カレンダー)**



浄土真宗本願寺派「宗務の基本方針」につきまして、スローガンとして「ともにお念仏申す身となる」が、掲げられました。

本願寺派総長、園城義孝の宗会演説一部を掲載いたします。

「私たち宗門人がもう一度原点に立ち返る必要があるように思います。今、私は「ともにお念仏申す身となる」ことを大切にいたしております。世間の問題の解決を追う前に、親鸞聖人のお示しくださったみ教えに私たちが生きるとはどういうことかをあらためて考えねばなりません。そもそも仏教とは、生死の苦を超えて仏になることをめざすものであります。しかし、阿弥陀如来はその道を歩むことの困難な私を、ご覧になり、その私を浄土へ迎えて仏にせずにはおれないとご本願にお誓いくださいました。親鸞聖人は『御消息』に「弥陀の本願と申すは、名号をとんへんものをば極楽へ迎へんと誓はせたまひたるを、ふかく信じてとなふるがめでたきことにて候ふなり。」と仰せになり、また、『歎異抄』には、「親鸞におきては、ただ念仏して、弥陀にたすけられまらさずべしと、よきひとの仰せをかぶりて、信するほかに別の子細なきなり。」と仰せになっております。これらの仰せは、偏に如来の本願のはたらきを疑いなく信じ、念仏申す身とならしめられていることの有り難さをお示しになつておると、受け止めております。私自身がお念仏申す身となることの他に救いはありません。「ともにお念仏申す身となる」とは一人ひとりがお念仏申す身となるということであり、まず、このこと一つを鮮明にすることが、親鸞聖人のみ跡を慕う宗門人がなすべきことであると存じている次第であります。」

■納骨堂ご利用の皆様にお知らせ■

光山寺の納骨堂につきましては、増築されている新エリア一階の納骨壇の空きがあと二〇壇程度となりました関係で、昨年度、位牌壇の整理と新納骨壇の納入を予定してまいりました。

しかしながら、昨年秋季に旧納骨堂部分に外壁の一部落下が発生し、調査の結果、天井部分の雨漏りによる亀裂剥離と判明し、緊急に旧納骨壇の屋上の防水の張り替え工事等を行いました。また、本年四月には、新納骨堂部分にも配管の詰まりによる一部雨漏りが発生し、こちらも緊急の修復を実施いたしました。

また、納骨壇等の仏具を納入していただいていた二宮佛具店(福岡県)が、昨年、廃業されるなどが重なりました。これにより、当初予定を大幅に延期しております。

位牌壇ご利用の皆様には、改修がいつ頃かご心配をおかけしておりますが、諸事情をご理解いただき、今暫くお待ちいただきますようお願い申し上げます。

■護持会費納入の御礼■

一昨年の報恩講よりご協力をお願いしております護持会費につきましては、約九割のご門徒の皆様に進納いただき、厚く御礼申し上げます。

会費につきましては、予算予定どおり、火災保険積立(昨年一部更新支払い)、本願寺・山口教区、萩組への賦課金、境内維持費に使用させていただきます。

会計監査につきましては、六月の護持会総会にて承認後に、一定期間、本堂内に掲示させていただきます。尚、護持会費振込口座と納骨堂管理費振込口座は違いますので、ご注意ください。

■【玉江浦地区限定】無料送迎バス運行中！■

令和六年度より玉江浦地区限定となり、法要時の無料送迎マイクロバスを運行しております。近年、高齢化により車の運転やお参りが難しいという方々の声が多く、参拝者の利便性を図るために運行するものです。



玉江浦地区の皆さまには、具体的な運行案内をいたしております。どうぞご利用いただけたら幸いです。尚、この運行は、旧玉江浦仏教婦人会基金と萩市民葬祭様マイクロバスご協力によるものです。

光山寺行事案内

令和八年度前半の光山寺行事予定です。万障繰り合わせてご参加ください。



★光山寺法要

五月一日(金・土曜) 春季永代経法要(講師、中山和泉師)
九月二七・二八日(日・月曜) 秋季永代経法要(講師、中島昭念師)

★山口教区・萩組

六月 六日(土曜) 萩組総代会総会・研修会(真行寺) 代参のみ
六月 八日(月曜) 山口別院、永代経法要(萩組参拝日)
六月未定日() 萩組仏教壮年会総会・研修会(光源寺)
六月一四日(日曜) 萩組仏教婦人会大会(福祉センター)

★仏教壮年会

五月三〇日(土曜) 午後六時 仏教壮年会総会(本堂)

★仏教婦人会

五月一七日(日曜) 午前十一時 光山寺初参式、全役員会
六月二六日(金曜) 午前八時半 清掃・莊嚴・リハーサル
六月二八日(日曜) 光山寺婦人会法座(講師、高橋了師)
★総代会・護持会 総会、五月三一日(日曜) 午後二時

★お経の練習会

(旧、礼讃の夕べ) 午後七時半(本堂)
五月 九日(土曜)・六月二三日(土曜)・七月一日(土曜)
八月 八日(土曜)・九月十九日(土曜)・十月一〇日(土曜)
★親鸞聖人讃仰会 午後七時半(本堂)

★雅楽練習会

午後七時半(庫裏) 五月二四日(日曜)
※以降毎月一回(日曜)開催

★ヨガ教室

午後四時四〇分(庫裏)
※月三回土曜日に開催

★仏教賛歌コーラス

午後三時半(本堂)
七月一二日(日) 山口教区仏教賛歌のつどい(山口別院)
※コーラス・ヨガ教室日程についてはお問い合わせください。

募集、お知らせ



●お経の練習会(旧、礼讃の夕)五月九日(土曜日)午後七時半より今年も!

「正信念仏偈」の練習をしてみました「お経の練習会」も今年で三十六年目となります。どなたでも参加できるお経の練習会として、本年も五月から十月までの月一度の練習(原則第二土曜日の午後七時半)で、お経本(聖典)を中心に日常の基本的勤行(しんこう)の一通りを練習したいと思っております。

本年度より、時間が午後七時半からの九〇分の開催となります。お経本をお持ちでない方は光山寺にて用意しますので、参加当日にお申し出ください。はじめて参加の方は大歓迎です。(お申し込み不要無料です)

●光山寺初参式 五月十七日(日曜)午前十一時

親鸞聖人のご誕生月である五月には毎年婦人会主催により初参式を実施しています。今年は五月十七日午前十一時、光山寺本堂にて開催されます。三歳くらいまでのお子さんが対象となります。仏の子として育つため仏教のご縁に初めてあう合同の初参式です。昨今子供の減少が激しいところですが、どうかご親戚等に対象となるお子さんがいらっしゃいましたら是非お申し込み、ご参加ください。尚、お子さんのお名前、生年月日等を光山寺までご連絡ください。当日参加できない方は個別、自宅での初参式も受付可能です。



●親鸞聖人鑽仰会 会員募集!

親鸞聖人のみ教えを鑽仰し、同朋としての親睦を深める事を目的とした「親鸞聖人鑽仰会」を四月よりスタートしましたので、新規会員を募集いたします。門徒に限らず、年齢・男女を一切問わず、広く親鸞聖人のみ教えを勉強する学習会です。年会費は二千円で二ヶ月に一回の開催。現代の宗教的課題や親鸞聖人の教えを正しく学ぶことを中心に学習しています。『浄土真宗聖典(註釈版)』が必要となりますが、お持ちでない方は申し出ください。尚、開催は偶数月、原則第三月曜(詳細は別紙にて申し込みください)。

●仏教壮年会 グループLINEに登録を!

仏教壮年会(会長、尾方忠久)では、本年度の総会・研修会を五月三〇日(土曜日)午後六時に開催いたします。また、本年も秋にグラウンドゴルフ大会(十月二十五日)を開催予定としております。男性に限らず女性の参加者も広く募集しております。

また、仏教では会員相互の連絡を密にするためLINEのグループ「光山寺仏教壮年会」を作成しています。各種案内や情報が受信できます。仏教壮年会の皆さまには、以下のQRコードよりグループ登録ください。



●除夜会でお楽しみ抽選会を開催しました

大晦日恒例の除夜会でお楽しみ抽選会が実施されました。例年、除夜会は大晦日午後十一時半すぎより開催されますが、平成二十六年より鐘をつかれる方全員に富くし抽選券を配布し、除夜会終了後の新年のお勧めの「修正会」に引き続き、抽選会を実施しています。昨年末は約六十名の参加者の中、お楽しみ抽選会を行いました。景品当選者は二十名でした。尚、景品出品に際しては総代会より、また福引き抽選会では仏教壮年会にご協力頂きました。



●電話番号・住所「連絡のお願い」

近年、固定電話を廃止されるご門徒の方が増えて参りました。この為に、御取越やお紐解きなどの行事連絡がつかないことが多くなりました。固定電話等を廃止された場合には、光山寺に一報を賜れば幸いです。

また、納骨堂(納骨壇・位牌壇)所有者の中で、県外等で引越しをされた場合にも、継承者の住所変更届が必要です。お寺からのお知らせ、会計報告などの郵便物が不配のお宅が増えております。お手数ながら宜しくお願い致します。

尚、納骨堂の利用廃止などのお手続きをされず、連絡不通、維持費未納が五年となりますと無縁墓への移動対象となります。納骨堂より他地域の墓地等にお骨移転の場合にも、法律で光山寺の「改葬許可証」が必要となります。皆様は、ご注意ください。

●仏教豆辞典 「迷惑」

「迷惑を、おかけいたします。」「近所迷惑」「迷惑駐車」まで、迷惑は、いやなめにあつて、困ることを意味する日常語で、よく使用されます。

迷惑は、もともと、道理に迷い、とまどうことで、どうしてよいか分からないで、途方にくれることを意味していました。

親鸞聖人は、仏の慈悲に包まれ、仏の力に生かされながら、なおも愛欲の絆にしばられ、名利を求めてさまよう自分に対する深い内観から、「悲しきかな、愚禿鸞、愛欲の広海に沈没し、名利の大山に迷惑して」と『教行信証』に述べられています。その「迷惑」が、正しく、この意味なのです。

《テレビホン法話集『願いのたすき』(第二集)より転載》

備後教区 刈屋浄影

昭和六〇年八月十二日に起こった日航機墜落事故は、なんとも悲惨で痛ましく、私達に科学技術のよろさ、そして人間の生と死を深く考えさせました。その中でも感動を与えたのは数人の人が死を覚悟した機内で手帳に紙切れに必死で書き綴られた短い言葉の遺書でした。

それは意識して作文したものではなく、心の叫びであったのです。みつからないかもしれない遺書ではあるが、書かずにおれなかつた究極の一言だったので。妻へ、子供へ、親へ、ここで生涯を終えねばならぬかもしれない無念さの中で、「仲良く頑張り、しっかり頼む」と叫んだ父親。また物のわからぬ二歳の男の子に「哲也、立派になれよ」と幼子の命に願いを遺した若き父親。その心中を思うとき、親心の深さに胸をうたれます。この子は大きくなつても父の記憶はないと思いたす。そしてお父さんのお葬式の時もたぶん、はしゃいで、さわいで笑っていたかも知れません。何にも分からない一人の子供の上にも、どうか幸福に生きよ、お前の人生安らかなれ、立派にやれよと願いをかけて散つていった一人の親が確かにいたのです。

人生は駅伝競争。たすきが受け渡され今、私のところへあなたのもとに届いています。あなたすきは単なるひもではなく万感の願いがこもっています。あとを頼むぞとの……。今私もあなたもたすきをもらい走っています。この命のたすきには、私は気付かなくとも間違いなく前のランナーのもう一つ前のランナーの……。そしてなんととっても永遠な命のみ親、あみだ如来の願いがこもっているのです。

●墓地利用者へお願い

光山寺墓地につきましては、毎年七月末に仏教壮年会有志による草刈り活動を実施し、お盆参りに皆様にご覧いただきたくお参りいただくように整備しております。ただ、近年墓地へ、ビールやカン等の投棄、枯れた櫛を放置されるなど、ゴミ処理の問題が発生しております。できるだけ、ゴミは各自でお持ち帰りいただきたく存じます。

また、食べ物関係のお供えは禁止といたします。お供えの場合には、直ぐにお持ち帰りください。熊・猿などの被害問題が懸念されます。ご不肖をおかけしますが、どうぞご協力を宜しくお願い致します。

